

The Mille Has Times



2025
AUTUMN
VOL.14

1月上演へ稽古着々

Kバレエ・オプト
『踊る。遠野物語』

Interview

舞台「飛び立つ前に」特集 | Kバレエ トウキョウ 石橋撰也さん／大久保沙耶さん

世界絶賛「飛び立つ前に」

1月上演

豪華俳優陣で日本初演ツアーアート

あらすじ

著名な作家アンドレとその妻マドレーヌは、パリの郊外の家で穏やかな日々を送っている。だが、50年という歳月を振り返るうちに、2人の関係は「完璧な愛」ではなかったのではないかという疑惑が、静かに心に影を落としはじめる。

娘たちの訪問を控え、何気ない日常の支度を進めていたある朝、届いたのは差出人のない一束の花。そして、過去の記憶をまとったひとりの女が、扉をたたく—。

静けさの裏に潜む、名もなきざわめき。2人の人生に封じられていた秘密が、時の奥底からゆっくりと浮かび上がる。

橋爪功さんら豪華キャストによる舞台「飛び立つ前に」が来年1月24、25日、あきた芸術劇場ミルハス中ホールで上演される。現代フランスを代表する劇作家で小説家のフロリアン・ゼレールさんによる同作が待望の日本初上演。今年11~12月の東京公演を皮切りに、秋田を含む全国5カ所をツアーで回る。見どころと出演者のメッセージを紹介する。

現代社会の中で複雑に絡み合う「家族」の姿を描いた本作。「老い」「愛」「別れ」といった誰しもが直面するテーマと向き合い、人生の終幕に見える風景と情熱を舞台に映す。橋爪功さんら実力派俳優陣が見せるミステリアスで繊細な心理描写に期待だ。

ココに注目!



日常に根差す心の機微を鋭く描くゼレールさんの戯曲は世界中で愛されている。中でも、家族を描いた三部作『Le Père 父』(2019年)、『Le Fils 息子』(2021年／2024年)、『La Mère 母』(2024年)は日本でも上演され話題となり、観客と批評家から高い評価を受けた。三部作の演出をしたラディスラス・ショラーさんが本作でも演出を手掛ける。

どこにでもいる家族の物語では終わらない唯一無二の世界観で、見る人の数だけ受け止め方があるとされる本作。いつまでも心に残り、人生に寄り添う作品になるに違いない。

公演概要

- ◆日 時: 2026年1月24日(土)・25日(日)
両日とも14:00開演(13:30開場)
- ◆会 場: あきた芸術劇場ミルハス 中ホール
- ◆料 金: 一般11,000円／25歳以下6,600円
- ◆チケット: ▼ミルハスclub会員先行販売
10月15日(水)10:00～10月22日(水)17:00
▼一般販売10月25日(土) 10:00～

【プレイガイド】ミルハス1階管理事務室／ミルハス公式サイト／ミルハス電話予約／さきがけニュースカフェ

主催／あきた芸術劇場ミルハス、秋田魁新報社



Avant de s'envoler

Written by Florian Zeller
Translated by Atsuko Saito
Directed by Ladislas Chollat

飛び立つ前に

キャストコメント



アンдре・父 / 橋爪 功

『Le Père 父』では、認知症の家族を持つ観客が「まさにあんな感じだった」と語ってくださり、作品の力を実感しました。今回の作品も、登場人物の存在すら曖昧に描かれており、観る人によって解釈が大きく異なります。その曖昧さが芝居として成立している点に、作家ゼレールの力を感じます。ある種、「自分が演じているこの芝居を、観客として見てみたい」と思ってくれる舞台なのです。

PROFILE

はしづめ・いさお／大阪府出身。文学座、劇団雲を経て1975年には演劇集団円の設立に参加。主役から脇役まで幅広く演じ分ける日本を代表する俳優。2021年旭日小綬賞受賞。フロリアン・ゼレール作×ラディスラス・ショラー演出タッグの作品への出演は19年の『Le Père 父』に続いて2作目。同作では認知症の父親役を好演し、菊田一夫演劇賞、読売演劇大賞の大賞・最優秀男優賞を受賞。



マドレーヌ・母 / 若村麻由美

今回の参加には大変とまどいました。『Le Père 父』で父娘の親子役として共演した橋爪功さんと、今度は50年も連れ添った夫婦役! 私に務まるとは思えなかったからです。プロデューサーや演出家ラッドの想いを受け、橋爪さんの胸をお借りして「飛び立つ」ことに決めました。大いなるチャレンジです!

PROFILE

わかむら・まゆみ／東京都出身。1987年NHK連続テレビ小説『はっさい先生』のヒロインに選ばれ俳優デビューし、エランドール新人賞を受賞。映画・ドラマ・舞台と幅広く活躍し、映像・舞台共に多くの賞を受賞している。フロリアン・ゼレール作×ラディスラス・ショラー演出タッグの作品への出演は今回で4作目。



アンヌ・長女 / 奥貫 薫

人生というのは美しい一瞬一瞬の積み重ねなのだということを、『La Mère 母』『Le Fils 息子』の2作品は示してくれました。今回、その続編とも言える『飛び立つ前に』に参加できることとなり、奇跡のような出会いに感謝するばかりです。

PROFILE

おくぬき・かおる／東京都出身。1989年映画『バトルヒーター』でスクリーンデビュー。以降、数多くの作品に出演し多方面で活躍。「東野・岡村の旅猿」(NTV)などの番組でナレーターとしても定評を得る。



エリーズ・次女 / 前田敦子

素晴らしい戯曲で尊敬する橋爪さんの娘役を務めさせていただくことに、静かに気持ちが引き締まる思いです。共演者の皆さん、スタッフの皆さんとご一緒できる時間を大切に、丁寧に作品と向き合っていきたいです。

PROFILE

まえだ・あつこ／千葉県出身。「AKB48」の第1期生として2012年まで活動しセンターとして人気を誇る。グループ卒業後は映画・ドラマ・舞台と幅広く活躍。2014年蜷川幸雄演出の『太陽2068』で初舞台を踏む。



男・エリーズのフィアンセ ポール / 岡本圭人

演出家ラッドの魔法のような演出を受けると、自分の想像を超える世界が広がります。「愛情」「喪失」「幸福」「悲哀」。劇場で感情の嵐を起こせるよう、ラッドの魔法に身を委ねて、新たな世界に飛び立ちたいと思います。

PROFILE

おかもと・けいと／東京都出身。2018年から2年間アメリカ最古の名門演劇学校アメリカン・アカデミー・オブ・ドラマティック・アーツへ留学。21年の『Le Fils 息子』でストレートプレイ初舞台・初主演を飾り、24年の再演時に紀伊國屋演劇賞を受賞。



女・シュワルツ夫人 / 剑 幸

不思議な魅力を持つ作品と出会いました! 誰にとっての現実なのか、それとも回想? 夢…? 何が正解か、はっきりしたことを探りたくなる。これが現実だと信じたい結末はほっとします。翻弄される心地良さ、きっと作者の思うつぼに、ハマっています。

PROFILE

つるぎ・みゆき／富山県出身。1974年宝塚歌劇団に入団。85年から5年間は月組男役トップスターとして数々の名作を残し、『ミー&マイガール』は1年間の続演という宝塚史上初の記録を樹立した。

ほぼオールキャストで行われた全体稽古
=8月28日、都内のスタジオ（撮影：渡邊肇）



来年1月12日にあきた芸術劇場ミルハス大ホールで上演するKバレエ・オプト『踊る。遠野物語』の全体稽古が8月下旬、都内にあるKバレエ トウキヨウのスタジオで行われた。Kバレエダンサーのほか、舞踏家や和楽器奏者らほぼオールキャストの26人が参集。演出・振付を手掛ける森山開次さん（51）の指揮の下、場面ごとに動きを確認した。同28日に報道陣らに向けて公開された稽古の様子を紹介する。

遠野に墜落した特攻隊員と許嫁が再会するシーンの稽古では、特攻隊員役の石橋獎也さん（33）＝Kバレエ トウキヨウ プリンシパル＝と許嫁役の大久保沙耶さん（36）＝同ソリスト＝が2人で踊った。死に別れた許嫁への断ち切れない思いを見事に表現した石橋さんと、しっとりとしたはかなげな身のこなしが際立った大久保さん。物語の重要な局面となる切なく幻想的なシーンを、実力派ダンサー2人が美しく彩った。

あらすじ

一通の特攻隊員の遺書との出会いからこの物語は始まった。1945年、出撃を前に青年が許嫁に残した思い。私のことは忘れ、これから新しい人生を幸せに歩んでいいってほしい—。けれどその末尾には、こらえきれない本音がつづられた。「会いたい、話したい、無性に」。

青年の戦闘機が墜ちたのは「遠野」だった。青年は神隠しに遭った少年に導かれながら、この世とあの世が交わる幻影の地「遠野」をさまよう。道中、オシラサマ、雪女、山姥に出会い、その全てに許嫁の面影を映す。たどり着いた三陸の浜で、青年が見たものとは…。

【出演】Kバレエ トウキヨウ（石橋獎也、大久保沙耶ほか）、磨赤兒、尾上真秀、田中陸奥子、森山開次、大駱駝艦の踊り手ほか

1月上演Kバレエ・オ

遠野の山奥に住む「山人」役で踊ったのは、舞踏カンパニー「大駱駝艦」の舞踏家とコンテンポラリーダンサーたち。重さを感じる足運びや低いうなり声、いびつな表情。恐ろしく怪しげな身体表現で稽古場の雰囲気を一変させた。謎めいた「死者」として登場した舞踏家磨赤兒さん（82）は、そこにいるだけで見る人を圧倒するエネルギーを放っていた。

特攻隊員を導く少年役を演じるのは、ダンス作品初挑戦の歌舞伎俳優尾上真秀さん（13）。大きく舞ったかと思えばピタリと動きを止めたり、足を強く踏みならしたり、歌舞伎を思わせる振付が印象的だった。子どもらしいあどけなさを残しつつ、神秘性をまとった絶妙な雰囲気が観客を引きつけそうだ。

森山さんは「遠野物語が内在する日本古来の死生観が作品の大きなテーマになっている。向こう側の世界と人間がどう接し、これからをどう生きていくか。遠野物語に込められた祈りを届けられるような作品にしたい」と話した。

©Hajime Watanabe



TETSUYA KUMAKAWA
BALLET TOKYO

顔ぶれそろい、稽古に

熱

Kバレエ・オプト『踊る。遠野物語』

Interview インタビュー



特攻隊員役 石橋 奕也

— 舞踊家の森山開次さんが振付を手掛ける。稽古はどうのように行われているのか。

石橋 森山さんがその場で思い付いた振付を試してみたり、イメージと違えば別の方法を考えたりします。さまざまな角度から振付を練っている段階で、われわれダンサーもそれに対応していくのが面白いです。

大久保 森山さんは表現したいことを本当にクリアに丁寧に説明してくれます。ダンサーとして、まずは森山さんのイメージをしっかり形にしたいと思いながら稽古に向かっています。

— どのように役を演じたいか。

石橋 癡のある悪役から王子役までさまざまな役をやってきたので、振り幅が大きいのが自分の強みだと思います。今回演じる特攻隊員の役では、感情を隠してぐっとこらえるような場面があります。普段なじんでいる西洋のバレエとは違う、日本人特有の心の表現です。許嫁との再会シーンはそうした心理描写が色濃く、特に見せ所になると思っています。

大久保 許嫁と特攻隊員が一緒に踊るシーンでは目線に気を配っています。許嫁は、もうこの世にいない彼を感じながら踊っている設定なので、目線が真っすぐ相手を捉えることはありません。許嫁役の他に、オシリサマ伝説に登場する娘役と雪女役も演じ分けます。雪女役の時は人間離れした感じが伝わるように、ふわ

心の機微を表現

石橋

3役演じ分ける

大久保

バレエと舞踏が融合する今までにないダンス作品として注目されるKバレエ・オプト『踊る。遠野物語』。特攻隊員役を務めるKバレエ トウキョウの石橋奨也さん(青森県八戸市出身)と主人公の許嫁役を演じる大久保沙耶さん(大阪府出身)に、稽古の様子や意気込みなどを聞いた。



許嫁役 大久保沙耶

りと軽やかな踊りを見せたいです。

— 舞踏とのコラボレーションにも注目が集まる。

石橋 舞踏家の方は踊りながら声も出していて、迫力に圧倒されます。バレエは身体の形で表現する部分が大きくて、決められたポジションがあります。一方で、舞踏は形にとらわれていなくて、自分の内側からにじむ精神世界を表現する芸術なのではないかと感じました。そうした違いのあるバレエと舞踏が最終的にどうまとまるのか、楽しみですね。

大久保 舞踏家の方から多くの刺激をもらっています。バレエはいかに軽やかさを出すかを大事にしてジャンプもしますが、舞踏はその逆で、重厚感がありますよね。それでも私たちは同じ表現者として舞台に立ちます。バレエと舞踏のエネルギーが集まった時、きっとすごいものができるだろうと思っています。

公演概要

- ◆日 時：2026年1月12日(月・祝)15:00開演(14:00開場)
- ◆会 場：あきた芸術劇場ミルハス 大ホール
- ◆料 金：S席8,500円/A席6,500円/
B席4,000円/学生席2,000円(25歳以下)

[プレイガイド] ミルハス公式サイト/ミルハス1階管理事務室/さきかけニュースカフェ/電話予約(ミルハスTEL:018-838-5822)

主催/あきた芸術劇場AAS共同事業体、秋田魁新報社



こチ
ちらか
ケット購入は

2025年度 あきた芸術劇場ミルハス

利用無料

要お申し込み

目のみえない・みえにくい方、耳のきこえない・きこえにくい方向け!

鑑賞支援サービスのご案内

あきた芸術劇場ミルハスは12月から来年1月にかけて行う3公演で、視覚と聴覚に障害のある人に向けた鑑賞支援サービスを実施します。サービスの利用は無料。公演日の2週間前までに、申込書を窓口に持参またはファクス、メールするか、電

話でお申し込みください。申込書は館内や県内の公共施設などに設置しています。来場時はチケットの購入が必要です。

サービス内容と対象公演を紹介します。この機会にぜひミルハスにご来場ください。

対象
公演第3回 あきた吹奏楽の日
～大いなる秋田定期公演～

◆日時：2025年12月21日(日)14:00開演

◆料金：全席自由1,000円

※希望者は舞台上で合唱に参加することも可能。

スタッフが付き添います。

大ホール
音楽利用可能な
サービス

Kバレエ・オプト『踊る。遠野物語』

◆日時：2026年1月12日(月・祝)15:00開演

◆料金：S席8,500円／A席6,500円／

B席4,000円／学生席2,000円

大ホール
バレエ利用可能な
サービス

舞台「飛び立つ前に」

◆日時：2026年1月24日(土)・25日(日)14:00開演

◆料金：一般11,000円／25歳以下6,600円

中ホール
演劇利用可能な
サービス

視覚障害者向け



事前説明会の開催

公演内容や舞台配置、ホールの雰囲気などを開演前に説明します。



座席までのご案内

ご来場後、スタッフが座席まで案内します。



盲導犬の入場

盲導犬と一緒に客席に入場できます。

聴覚障害者向け



ポータブル字幕サービス

ご持参のスマートフォンやタブレット端末に司会者の話や役者のせりふをその場で表示します。



要約筆記(ノートテイク)

司会内容などについて、要約筆記者がその場で要点をまとめて文字で伝えます。



FM補聴システム

公演の音声を専用の受信機に送り、イヤホンで聞くことができます。



舞台手話通訳

司会者の話などを舞台上で手話通訳します。

お申し込み・お問い合わせ

TEL 018-838-5822

FAX 018-838-5825

Mail kikaku@akiat.jp

公演日の
2週間前までに
お申し込み
ください

お電話での受付は9:00～17:00

※鑑賞支援サービスは無料ですが、別途公演のチケットが必要となりますのであらかじめお買い求めください。

※貸し出しの機器は数に限りがございますのでご希望の方はチケット購入後にお早めにお申し込みください。

2025年 10月・11月・12月

公演・イベント情報

10/5(日)●大ホール
久保田利伸公演

18:00開演

【お問い合わせ】
キヨードー東北 TEL:022-217-7788

※チケット完売

10/29(水)●小ホールA
ギターと静寂
五十嵐紅ソロ
全国ツアー2025

15:00開演

【お問い合わせ】
株式会社50 TEL:03-6903-5126**11/16(日)**●中ホール
鴉公演

18:30開演

【お問い合わせ】
鴉公式HP <https://karasu.in/contact/>**10/8(水)9(木)**●中ホール
DRUM TAO 2025
新作舞台「THE BEST」

8日／18:00開演 9日／13:00開演

【お問い合わせ】
キヨードー東北 TEL:022-217-7788**10/30(木)**●大ホール
浜田省吾公演

18:00開演

【お問い合わせ】
ノースロードミュージック TEL:018-833-7100**11/24(月・振休)**●大ホール
LiSA公演

17:45開演

【お問い合わせ】
キヨードー東北 TEL:022-217-7788**10/13(月・祝)**●大ホール
薬師丸ひろ子公演

17:00開演

【お問い合わせ】
キヨードー東北 TEL:022-217-7788

※チケット完売

11/1(土)●大ホール
新沼謙治公演

15:00開演

【お問い合わせ】
MIN-ON仙台 TEL:022-355-4772**11/29(土)**●大ホール
T-BOLAN公演

17:00開演

【お問い合わせ】
キヨードー東北 TEL:022-217-7788

※チケット完売

●中ホール
渡辺美里公演

17:45開演

【お問い合わせ】
EDWARD LIVE TEL:022-266-7555

※チケット完売

11/1(土)●中ホール
笑福亭鶴瓶公演

撮影:大西二士男

13:00開演

【お問い合わせ】
キヨードー東北 TEL:022-217-7788**11/30(日)**●大ホール
東北北部三県
警察音楽隊演奏会

15:00開演

【お問い合わせ】秋田県警察音楽隊 TEL:018-863-1111
※観覧券付終了●中ホール
真田ナオキ公演

13:30開演

【お問い合わせ】
世界芸能 TEL:022-222-4997**11/3(月・祝)**●大ホール
藤井フミヤ公演

16:00開演

【お問い合わせ】
キヨードー東北 TEL:022-217-7788**12/10(水)**●大ホール
ウクライナ国立バレエ
「ジゼル」

18:30開演

【お問い合わせ】
秋田魁新報社企画事業部 TEL:018-888-1857

※チケット完売

●中ホール
立川談春公演

13:30開演

【お問い合わせ】
キヨードー東北 TEL:022-217-7788**11/8(土)9(日)**●大ホール
徳永英明公演

8日／16:00開演 9日／15:00開演

【お問い合わせ】
ノースロードミュージック TEL:018-833-7100**12/21(日)**●大ホール
第3回あきた吹奏楽の日
～大いなる秋田定期公演～

14:00開演

【お問い合わせ】
あきた芸術劇場ミルバス TEL:018-838-5822●大ホール
秋田県芸能フェスティバル
2025

10:30開演

【お問い合わせ】
秋田県芸術文化協会 TEL:018-835-3193**11/15(土)**●大ホール
舞台「大誘拐～四人で
大スペクタクル～」

16:00開演

【お問い合わせ】
ABS秋田放送企画事業部 TEL:018-826-8500

※掲載しているのは公演・
イベントの一部です。情
報は9月中旬時点のもの
で、「チケット完売」の記
載がない公演でもお読み
になつた時点では完売し
ている場合があります。
ご了解ください。



▲ 詳細はこち

Mille Has information

来年3月15日中ホールで開催決定 「あきた民謡フェス」に和楽器バンドWASABI

「あきた民謡フェスvol.3」を来年3月15日、あきた芸術劇場ミルハス中ホールで開催する。民謡の新たな可能性に光を当てるミルハス主催の人気公演。3回目となる今回は、4人組の和楽器バンド「WASABI」を迎える。秋田が誇るレジェンド民謡歌手小野花子さんもステージを盛り上げる。

WASABIは、津軽三味線ユニット「吉田兄弟」の兄・吉田良一郎さんを中心に2008年に活動をスタート。津軽三味線、尺八、箏、太鼓による純邦楽バンドとして、国内だけでなく海外公演も精力的に行っている。叙情的な響きだけではないグルーヴ感のある和の音楽は、聴く人に新鮮な驚きと感動を与える。箏奏者の市川慎さんは秋田市出身。

WASABIや小野さんのほか、県内の若手実力派民謡歌手によるステージもある。チケットは11月下旬発売予定。料金などの詳細は決まり次第ミルハス公式サイトやSNSで発信する。



公演概要

- ◆日時:2026年3月15日(日) 14:00開演(13:30開場)
- ◆会場:あきた芸術劇場ミルハス 中ホール
- ※チケット料金、発売日などの詳細はミルハス公式サイトなどでお知らせします。



民謡歌手／小野花子



昭和のころ、キツネにつままれた人が身近にいたらしい。「〇〇の家の〇〇だば川さ浸かって、『ああ、いい湯だ』って言つたど」▼幼少期に聞いたこの話を思い出したのは「遠野物語」を読んだからだ。本のページで怪しく躍動するのはザシキワラ

シや河童、天狗、山姥ばかりでない。驚くべき身体能力を持つ山人や、山の神に会い特殊能力を得た者も。節々に示される地名と人名が静かに「事実」と唱える▼1909年に柳田國男がかの地で聞き取った119の伝承・伝聞が怪異にあふれているのはなぜだろう。禁忌に理由を与える必要があったのか。畏れや不安の暗闇で震える心は怪しい光さえもよすがにしようとするからか。いずれにしても話したい者と聴きたい者の両方がいて幾多の怪異が伝承になつた▼1月12日にあきた芸術劇場ミルハス大ホールで公演予定のKバレエ・オプト『踊る。遠野物語』(主催:あきた芸術劇場AAS共同事業体、秋田魁新報社)は、遠

野物語の第99話を基にした創作だ(本誌今号P2、3で紹介)。期待を刺激されるのは、第99話が怪異を含みながらも、愛について強烈に問う話だからだ。死に分かれた伴侶への愛の在り方。その問い合わせの鋭さは残酷とさえ思われる▼作品は、バレエ、舞踏、歌舞伎、舞踊それぞれ一流の身体表現を化学反応させる大仕掛けである。舞踏界の生きる伝説と言われる磨赤兒さんが登場すれば、いや恋なしに妖氣を噴き出しだろう。バレエはそれにどう触発されるのか。変異してなお、いや変異してこそその真価を見せてくれるのではないか▼キツネならぬ、舞台の魔力につままれて、客席で「愛」の深みに浸かってみるのはいかがか。



あきた芸術劇場
Akita Arts theatre
ミルハス

<発行>あきた芸術劇場ミルハス
〒010-0875 秋田市千秋明徳町2番52号
TEL.018-838-5822 FAX.018-838-5825
E-mail/info@akiat.jp https://akiat.jp

